



# I 自然と人口

項目	データ	全国順位
(面積)		
総面積	3,798.13km <sup>2</sup>	39
林野面積	122,401ha	41
自然公園面積	124,583ha	14
総面積1km <sup>2</sup> 当たり人口密度	1,894.2人	4
総面積中の可住地面積割合	67.6%	2
(気候)		
年平均気温	15.8℃	27
降水量(年間)	1,307.0mm	43
快晴日数(年間)	49日	1
(人口)		
人口総数	7,194,556人	5
男	3,608,711人	5
女	3,585,845人	5
外国人	88,734人	5
年少人口(0~14歳)	953,668人	5
生産年齢人口(15~64歳)	4,749,108人	5
老年人口(65歳以上)	1,464,860人	5
生産年齢人口割合	66.3%	3
平均年齢	43.6歳	43
平均寿命(男)	79.05年	15
平均寿命(女)	85.29年	42
(人口変動)		
昼間人口	6,158,964人	5
昼夜間人口比率	87.5%	47
他都道府県からの転入者数	162,483人	3
他都道府県への転出者数	147,059人	4
出生数	59,437人	5
合計特殊出生率	1.32	40
死亡数(総数)	55,487人	5
(世帯)		
一般世帯数	2,837,542世帯	5
核家族世帯割合	62.2%	2
高齢単身世帯割合	7.2%	43
婚姻件数	39,160件	5
離婚件数	14,325件	4
平均初婚年齢(夫)	30.9歳	4
平均初婚年齢(妻)	28.9歳	7

# 1 自然・地形

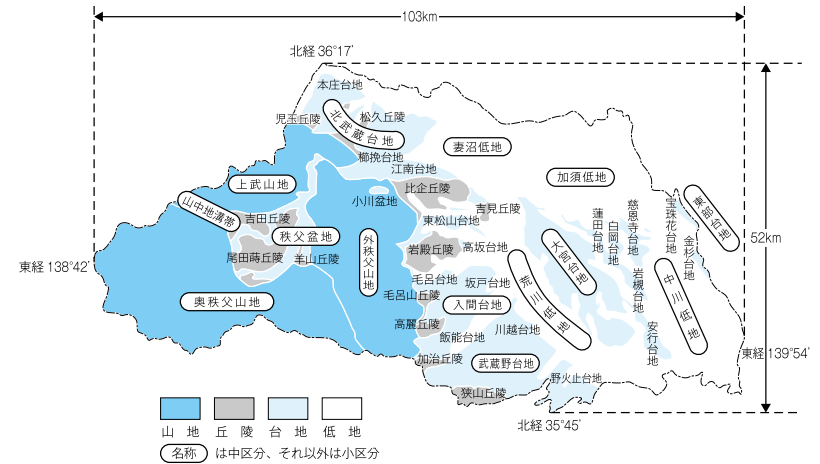
単 位	* 1 林野面積		* 2 自然公園面積		* 3 自然環境保全地域面積		* 4 河川延長・一級河川(指定区間外含む)	
	ha	順位	ha	順位	ha	順位	km	順位
全 国	24 845 302		5 420 349		76 555.60		87 955.9	
北 海 道	5 552 779	1	865 634	1	5 957.83	3	10 174.9	1
青 森 県	627 658	9	114 570	18	1 230.17	16	1 081.0	34
岩 手 県	1 158 497	2	72 102	29	2 135.45	11	2 140.7	14
宮 城 県	412 348	21	171 199	8	7 817.32	2	2 112.4	15
秋 田 県	836 327	6	123 777	15	818.59	19	2 738.2	8
山 形 県	646 819	8	155 810	10	5 105.96	6	2 923.3	6
福 島 県	942 516	4	179 124	6	4 867.41	7	3 438.5	4
茨 城 県	189 261	39	90 896	20	645.21	22	1 892.9	20
栃 木 県	341 500	28	133 443	13	4 672.26	8	2 732.2	9
群 馬 県	405 899	22	88 970	21	5 327.21	4	2 904.5	7
<b>埼 玉 県</b>	<b>122 401</b>	<b>41</b>	<b>124 583</b>	<b>14</b>	<b>518.24</b>	<b>24</b>	<b>1 642.5</b>	<b>25</b>
千 葉 県	161 052	40	28 537	43	1 773.75	15	512.6	41
東 京 都	79 653	46	79 889	27	405.30	26	734.6	38
神 奈 川 県	94 182	44	55 138	32	11 236.40	1	331.7	42
新 潟 県	807 377	7	316 891	2	2 008.42	13	3 604.6	3
富 山 県	239 505	35	119 754	17	623.78	23	1 168.9	32
石 川 県	279 023	32	52 494	33	1 050.50	17	316.9	43
福 井 県	310 456	30	61 432	31	273.12	29	1 099.5	37
山 梨 県	349 372	26	121 153	16	2 144.33	10	2 055.6	13
長 野 県	1 022 777	3	278 548	3	790.42	20	5 070.4	2
岐 阜 県	842 091	5	195 093	5	2 956.87	9	3 261.6	5
静 岡 県	495 556	16	83 777	25	5 185.52	5	1 627.0	26
愛 知 県	218 975	37	88 873	22	261.08	30	1 393.0	30
三 重 県	373 317	24	201 896	4	463.40	25	1 745.9	22
滋 賀 県	204 658	38	149 957	12	-	-	2 315.9	12
京 都 府	342 386	27	25 738	45	221.87	33	1 555.3	27
大 阪 府	58 094	47	19 092	47	38.33	43	672.2	39
兵 庫 県	562 100	14	166 015	9	398.30	27	1 768.4	21
奈 良 県	283 966	31	63 328	30	92.10	40	1 650.0	24
和 歌 山 県	363 040	25	50 309	34	329.39	28	602.0	40
鳥 取 県	257 806	33	49 060	35	153.70	37	1 034.2	36
島 根 県	526 064	15	40 497	40	178.74	36	2 288.1	13
岡 山 県	488 586	17	80 664	26	101.33	39	2 543.8	10
広 島 県	618 912	10	37 853	42	2 054.12	12	2 424.6	11
山 口 県	439 795	20	42 667	38	-	-	209.8	44
徳 島 県	312 258	29	38 706	41	39.00	42	1 520.1	28
香 川 県	87 363	45	20 534	46	88.02	41	87.2	46
愛 媛 県	401 117	23	41 121	39	1 914.37	14	1 944.4	18
高 知 県	594 463	11	47 504	36	4.70	45	1 927.6	19
福 岡 県	220 354	36	88 107	23	134.11	38	1 300.2	31
佐 賀 県	110 668	43	26 884	44	243.93	31	1 076.8	35
長 崎 県	247 144	34	74 091	28	733.12	21	136.4	45
熊 本 県	467 277	18	155 636	11	182.01	35	1 734.5	23
大 分 県	459 392	19	174 849	7	16.16	44	2 074.4	16
宮 崎 県	589 028	13	91 919	19	183.97	34	1 508.5	29
鹿 児 島 県	590 628	12	85 812	24	229.00	32	878.1	37
沖 縄 県	110 862	42	46 017	37	950.79	18	-	-

資料出所  
 \* 1 「農林業センサス」農林水産省  
 \* 2 「環境統計集」環境省HP  
 \* 3 「環境統計集」環境省HP  
 \* 4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省HP

調査時点又は期間  
 平成22年2月1日  
 平成23年3月31日  
 平成22年3月31日  
 平成22年4月30日

調査周期  
 5年  
 毎年  
 毎年  
 毎年

## 埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

### 県土の3分の1が林野

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,401haで県土の32.2%を占めています。このうち、現況森林面積は122,132haで、県土保全・水資源のかん養・保健休養など貴重な役割を担っています。

### 県土の3分の1が自然公園

「環境統計集」によると、平成23年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,583haが指定されており、県土の33.06%を占めています。また、自然環境保全地域として、518.24haが指定されています。

国土交通省によると、県内の一級河川延長は1,642.5kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表\*2の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

### ～母なる川、荒川～

埼玉県の母なる川、荒川は、本県と、山梨、長野県境にある甲武信ヶ岳を起点に、120近くある支川の水を集めながら、県中央部を西から東へ抜け、東京湾に注ぎます。県内の荒川の流域面積は2,440km<sup>2</sup>で、県全体の面積の約3分の2を占めています。

下流にある荒川第一調節池は面積が5.8km<sup>2</sup>と蕨市とほぼ同じ広さで、貯水量は3,900万m<sup>3</sup>と25mプール156,000杯分に相当します。



おしえてコバトン

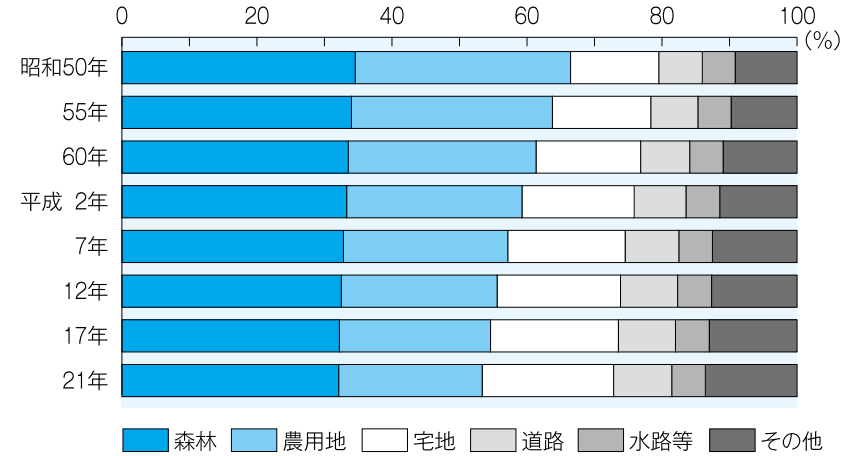
## 2 面積

単 位	* 1 総面積 (北方地域及び竹島を含む)		* 2 総面積 1 km <sup>2</sup> あたり 人口密度		* 3 総面積中の人口集中 地区面積割合		* 4 総面積中の 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 950.10		343.4		3.37		32.6	
北海道	83 456.87	1	70.2	47	0.96	43	27.9	31
青森県	9 644.54	8	142.4	41	1.66	34	33.2	22
岩手県	15 278.89	2	87.1	46	0.55	47	24.3	40
宮城県	7 285.76	16	322.3	19	3.33	17	43.0	14
秋田県	11 636.25	6	93.3	45	0.75	45	27.1	33
山形県	9 323.46	9	125.4	42	1.23	42	30.6	27
福島県	13 782.76	3	147.2	39	1.33	39	30.6	27
茨城県	6 095.72	24	487.2	12	3.97	13	65.2	4
栃木県	6 408.28	20	313.3	22	2.95	20	46.0	12
群馬県	6 362.33	21	315.6	21	3.15	19	36.1	17
埼玉県	3 798.13	39	1 894.2	4	18.09	4	67.6	2
千葉県	5 156.70	28	1 205.5	6	12.29	6	67.6	2
東京都	2 187.50	45	6 015.7	1	49.12	1	63.8	5
神奈川県	2 415.86	43	3 745.4	3	39.29	3	60.4	6
新潟県	12 583.81	5	188.7	34	1.85	31	35.6	18
富山県	4 247.61	33	257.4	25	2.47	26	43.6	13
石川県	4 185.66	35	279.5	23	2.55	25	33.0	23
福井県	4 189.83	34	192.4	32	1.87	30	25.5	36
山梨県	4 465.37	32	193.3	31	1.35	38	21.3	44
長野県	13 562.23	4	158.7	38	1.30	40	24.5	39
岐阜県	10 621.17	7	195.9	30	1.68	33	20.2	45
静岡県	7 780.42	13	483.9	13	5.47	11	35.1	20
愛知県	5 165.04	27	1 434.8	5	17.84	5	57.3	7
三重県	5 777.27	25	321.0	20	3.22	18	35.0	21
滋賀県	4 017.36	38	351.2	15	2.68	24	32.1	25
京都府	4 613.21	31	571.4	10	5.71	10	25.0	37
大阪府	1 898.47	46	4 669.7	2	47.76	2	69.5	1
兵庫県	8 396.13	12	665.6	8	6.88	8	32.9	24
奈良県	3 691.09	40	379.5	14	3.88	14	23.0	43
和歌山県	4 726.29	30	212.0	29	1.93	29	23.2	42
鳥取県	3 507.28	41	167.8	37	1.38	37	26.0	35
島根県	6 707.95	19	107.0	44	0.64	46	18.7	46
岡山県	7 113.21	17	273.5	24	2.85	22	31.1	26
広島県	8 479.58	11	337.4	18	3.59	15	26.6	34
山口県	6 113.95	23	237.4	28	3.45	16	28.7	30
徳島県	4 146.67	36	189.4	33	1.28	41	24.7	38
香川県	1 876.53	47	530.7	11	4.16	12	52.9	10
愛媛県	5 678.18	26	252.1	26	2.71	23	29.4	29
高知県	7 105.16	18	107.6	43	0.78	44	16.4	47
福岡県	4 977.24	29	1 019.0	7	11.38	7	55.1	8
佐賀県	2 439.65	42	348.3	16	2.22	27	54.9	9
長崎県	4 105.33	37	347.5	17	2.93	21	39.7	15
熊本県	7 404.73	15	245.4	27	2.10	28	37.1	16
大分県	6 339.71	22	188.7	34	1.81	32	27.9	31
宮崎県	7 735.99	14	146.7	40	1.47	35	23.7	41
鹿児島県	9 188.78	10	185.7	36	1.38	36	35.3	19
沖縄県	2 276.15	44	611.9	9	5.75	9	51.1	11

資料出所  
\* 1～3 「国勢調査」総務省統計局 HP  
\* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間  
平成 22 年 10 月 1 日  
平成 21 年 10 月 1 日  
調査周期  
5 年  
毎年

## 利用形態別土地面積構成比



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

### 面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の本県の面積は3,798.13km<sup>2</sup>(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は1,894.2人で、前回調査(平成17年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と10の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は、18.09%で全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成21年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均の約2倍の67.6%で全国第2位でした。

人口集中地区面積割合  $\text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$

可住地面積割合  $\text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$

### ～人口集中地区～

人口集中地区は、統計データに基づいて一定の基準により都市的地域を定めたもので、昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定されています。

- 国勢調査基本単位区または調査区を基礎単位として、
- ①人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村境界内で互いに隣接し、
  - ②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域を「人口集中地区」としています。



おしえてコバトン

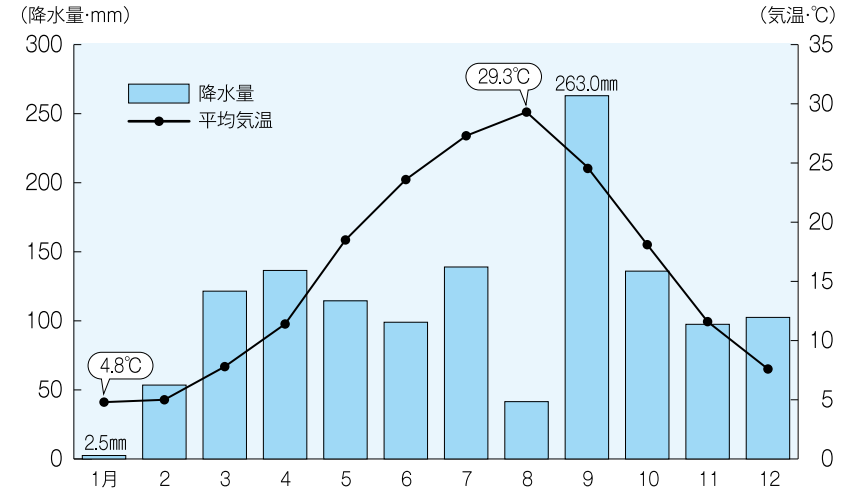
### 3 気象

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年平均気温		降水量(年間)		日照時間(年間)		快晴日数(年間) 日平均雲量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...	...	...	...	...	...	...	...
北海道	9.8	47	1 325.0	41	1 526.9	44	4	46
青森県	11.1	45	1 570.0	32	1 465.0	46	8	44
岩手県	11.0	46	1 634.0	26	1 565.8	42	9	40
宮城県	13.2	41	1 444.0	38	1 786.9	30	7	45
秋田県	12.3	44	1 890.5	15	1 431.3	47	9	40
山形県	12.5	43	1 418.5	40	1 539.3	43	10	39
福島県	13.8	40	1 518.5	35	1 737.3	35	9	40
茨城県	14.5	38	1 530.5	34	2 012.9	18	30	8
栃木県	14.8	37	1 718.0	24	1 878.6	25	21	25
群馬県	15.5	29	1 490.5	37	2 139.9	4	25	15
埼玉県	15.8	27	1 307.0	43	2 113.7	7	49	1
千葉県	16.2	26	1 796.5	20	2 038.6	16	24	16
東京都	16.9	17	1 679.5	25	1 987.0	21	34	7
神奈川県	16.5	23	1 855.5	18	2 094.0	10	26	13
新潟県	14.4	39	2 072.0	11	1 583.4	41	16	32
富山県	14.9	36	2 786.5	7	1 593.2	40	15	36
石川県	15.1	34	2 858.5	4	1 674.7	38	17	30
福井県	15.0	35	2 717.0	8	1 618.9	39	23	20
山梨県	15.2	33	1 320.0	42	2 176.6	1	29	10
長野県	12.6	42	1 058.0	46	1 928.9	23	12	38
岐阜県	16.4	24	2 440.5	9	2 067.3	12	35	5
静岡県	17.2	9	2 846.0	5	2 156.9	3	42	3
愛知県	16.6	20	1 730.0	22	2 095.3	9	24	16
三重県	16.6	20	1 623.5	28	2 159.0	2	35	5
滋賀県	15.3	32	1 858.0	16	1 850.4	27	23	20
京都府	16.4	24	2 061.0	12	1 750.2	34	14	37
大阪府	17.3	8	1 568.0	33	2 031.9	17	16	32
兵庫県	17.2	9	1 633.0	27	2 091.5	11	20	28
奈良県	15.4	31	1 587.5	29	1 781.5	31	16	32
和歌山県	17.1	11	1 578.0	31	2 039.2	15	18	29
鳥取県	15.6	28	1 830.5	19	1 717.4	36	23	20
島根県	15.5	29	1 857.0	17	1 703.5	37	9	40
岡山県	16.7	19	1 216.0	45	2 096.9	8	38	4
広島県	16.6	20	1 586.0	30	2 049.1	14	22	23
山口県	17.1	11	1 742.5	21	1 792.0	29	24	16
徳島県	17.0	13	1 506.0	36	2 121.0	5	24	16
香川県	17.0	13	988.0	47	2 065.1	13	17	30
愛媛県	16.9	17	1 441.0	39	2 000.4	19	21	25
高知県	17.6	4	3 093.0	1	2 118.4	6	29	10
福岡県	17.5	5	1 729.0	23	1 833.1	28	21	25
佐賀県	17.0	13	1 941.0	13	1 853.4	26	30	8
長崎県	17.5	5	1 897.5	14	1 755.5	33	29	10
熊本県	17.4	7	2 072.5	10	1 886.1	24	22	23
大分県	17.0	13	1 298.0	44	1 952.6	22	26	13
宮崎県	17.7	3	2 811.0	6	1 988.3	20	27	2
鹿児島県	18.9	2	2 942.0	2	1 765.8	32	16	32
沖縄県	23.1	1	2 895.5	3	1 502.7	45	3	47

資料出所  
\*1~4「気象統計情報」気象庁HP

調査時点又は期間  
平成22年  
調査周期  
毎年

### 月別平均気温・降水量(平成22年・熊谷)



資料：「気象統計情報」気象庁HP

#### 夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、夏は高温多湿で雷の発生が多く、冬は低温乾燥で北西の季節風が強い内陸性の太平洋側気候です。地域別に気温の特徴をみると、北部から南部の東側にかけては、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に多治見(岐阜県)とともに熊谷で国内最高気温の40.9℃、越谷でも40.4℃が観測されました。一方、秩父地方の盆地は、冬季夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低記録が観測されました。

#### 年間快晴日数49日で全国第1位

「気象統計情報」によると、平成22年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.8℃高い15.8℃、最高気温は9月7日の38.1℃、最低気温は2月4日の-4.2℃でした。また、年間降水量は平年値より20.7mm多い1,307.0mmで、日最大降水量は9月16日の61.0mmでした。日照時間は平年値より71.6時間多い2,113.7時間となり、快晴日数は49日で、前年より2日少ないものの全国第1位でした。

※表\*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根及びび山口県は下関の値としました。  
※表\*3の「J」は、資料不足値で十分な信頼性がありませんので、利用には注意が必要です。

#### ~猛暑日数日本一!~

2011年の猛暑日(最高気温35度以上)の日数は、熊谷が26日(2010年は41日)で、全国の気象官署の中で2年連続日本一になりました。熊谷の周辺が夏に暑くなる理由は、①昼間に吹く南風が、東京などの大都市を通過する間にどんどん暖められ、熊谷付近に到達した時にはとても熱い風となること。②上空を吹く西風が秩父の山を越えた後に、熊谷付近に向かって吹き下ろしの風となり、空気が圧縮され気温が上がるフェーン現象が起こること。などが考えられています。

資料：熊谷地方気象台HP



おしえてコバトン

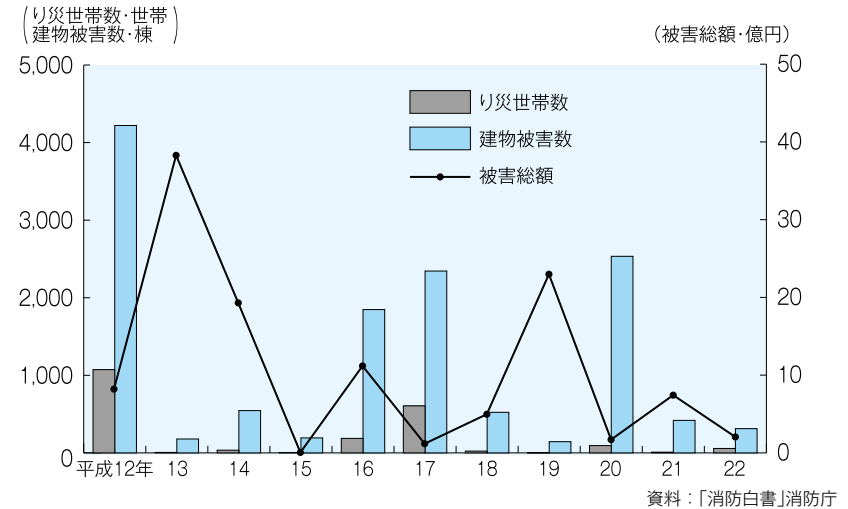
# 4 自然災害

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	り災世帯数		り災者数		住家被害		消防職員・団員 出勤延人数	
	世帯	順位	人	順位	棟	順位	人	順位
全 国	2828		6 200		17 297		84 373	
北海道	65	8	117	12	947	6	3 615	7
青森県	22	17	32	17	185	23	2 980	11
岩手県	44	13	131	10	193	21	-	42
宮城県	-	34	-	34	295	17	3 295	10
秋田県	55	12	166	7	652	10	4 649	5
山形県	2	27	4	31	176	24	2 379	14
福島県	2	27	5	28	407	12	2 490	13
茨城県	91	5	163	8	89	38	339	33
栃木県	-	34	-	34	25	43	572	30
群馬県	-	34	-	34	75	39	255	35
埼玉県	57	11	111	13	303	15	889	26
千葉県	27	16	24	20	657	9	1 639	20
東京都	3	23	7	26	886	7	-	42
神奈川県	3	23	5	28	1 059	5	1 576	22
新潟県	7	21	13	21	311	14	4 690	4
富山県	13	19	26	19	110	34	1 414	23
石川県	-	34	-	34	69	40	473	31
福井県	-	34	-	34	23	44	6	41
山梨県	-	34	-	34	14	45	22	40
長野県	81	7	198	6	731	8	3 535	8
岐阜県	82	6	233	5	509	11	2 662	12
静岡県	58	10	158	9	268	19	831	27
愛知県	-	34	-	34	158	26	2 285	16
三重県	15	18	34	16	109	36	1 857	17
滋賀県	-	34	-	34	33	42	-	42
京都府	3	23	8	24	279	18	1 580	21
大阪府	-	34	-	34	167	25	196	37
兵庫県	2	27	4	31	187	22	1 401	24
奈良県	1	30	2	33	147	29	215	36
和歌山県	33	14	53	15	383	13	-	42
鳥取県	-	34	-	34	14	45	191	38
島根県	1	30	5	28	39	41	730	28
岡山県	1	30	6	27	135	30	1 775	19
広島県	452	3	923	3	1 803	1	10 540	1
山口県	657	2	1 555	1	1 668	3	3 916	6
徳島県	31	15	76	14	300	16	1 815	18
香川県	12	20	29	18	90	37	274	34
愛媛県	4	22	10	22	150	28	2 378	15
高知県	-	34	-	34	235	20	-	42
福岡県	234	4	535	4	1 072	4	5 070	3
佐賀県	-	34	-	34	123	32	3 400	9
長崎県	3	23	8	24	155	27	-	42
熊本県	1	30	10	22	112	33	621	29
大宮	-	34	-	34	5	47	457	32
分岐	63	9	129	11	132	31	1 107	25
鹿児島県	703	1	1 420	2	1 707	2	6 221	2
沖縄県	-	34	-	34	110	34	33	39

資料出所  
\* 1～4 「消防白書」消防庁

調査時点又は期間  
平成22年  
調査周期  
毎年

# 自然災害被害状況



## 県内で震度4を観測した地震は1回

「地震・火山月報(防災編)」によると、平成22年に国内で被害を伴った地震は11回で、死者・行方不明者を伴う地震はありませんでした。

本県の観測点で観測した震度1以上の地震は64回で、最大の震度は震度4(11月5日)でした。気象庁によると、平成22年中に発生した台風の数(14個(平均は25.6個))で1951年の統計開始以来の最少を記録しました。日本に上陸した台風は2個(平均は2.7個)でした。また、夏は全国的に気温が高く、都市化の影響の少ない17地点の気象台などで平均した夏の平均気温は、1898年以降の113年間で第1位となりました。

## 消防職員及び消防団員の出勤延人数は前年比40%減

「消防白書」によると、平成22年の自然災害によるり災世帯数は57世帯、り災者数は111人、被害総額は2億449万円でした。

主な被害の内容は、重傷者2人、軽傷者5人、住家の一部破損3棟、床上浸水53棟、床下浸水247棟、河川10か所、崖くずれ10か所でした。

被害報告のあった災害に出勤した消防職員及び消防団員の延人数は、前年より577人減少し、889人でした。

※表\*3は、全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の被害のあった住家の合計です。

## ～その時どうする？～

東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が平日昼に発生した場合、公共交通機関の運行停止などによる帰宅困難者が1都3県(東京、埼玉、千葉、神奈川)で約650万人発生すると想定されています。この人々が一斉に徒歩帰宅を始めると、路上や駅周辺で大混雑が発生し、大変危険な状態になります。また、救助・救命活動や消火活動、救援物資輸送などの応急対策活動の妨げにもなります。

まずは「むやみに移動を開始しない」ことが大切です。やみくもに帰宅しようとせず、まず、家族や自宅の無事を確かめましょう。無事が確認できれば、状況が落ち着くのを待って帰宅することができます。

災害発生当初は固定電話や携帯電話はかかりにくくなる可能性が高いので、災害用伝言ダイヤル171、携帯電話災害用伝言版、web171を利用するなど、普段から家庭で安否確認手段について話し合っておきましょう。



おしえてコバトン



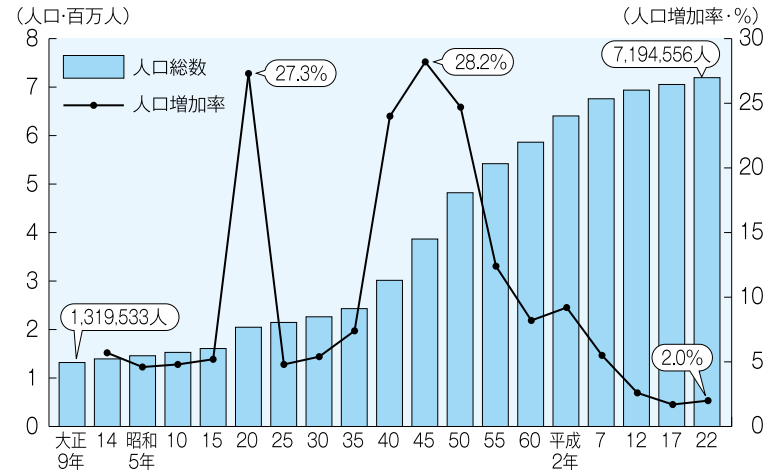
# 5 総人口

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	人口総数	順位	男	女	男	女	外国人	順位
	人		人	人	人	人	人	
全 国	128 057 352		62 327 737	65 729 615			1 648 037	
北海道	5 506 419	8	2 603 345	2 903 074	8		18 280	20
青森県	1 373 339	31	646 141	727 198	29		3 688	43
岩手県	1 330 147	32	634 971	695 176	32		5 184	38
宮城県	2 348 165	15	1 139 566	1 208 599	15		12 367	22
秋田県	1 085 997	38	509 926	576 071	37		3 356	46
山形県	1 168 924	35	560 643	608 281	34		6 158	36
福島県	2 029 064	18	984 682	1 044 382	18		9 347	28
茨城県	2 969 770	11	1 479 779	1 489 991	11		40 477	10
栃木県	2 007 683	20	996 855	1 010 828	21		26 429	17
群馬県	2 008 068	19	988 019	1 020 049	19		35 458	13
埼玉県	7 194 556	5	3 608 711	3 585 845	5		88 734	5
千葉県	6 216 289	6	3 098 139	3 118 150	6		78 927	7
東京都	13 159 388	1	6 512 110	6 647 278	1		318 829	1
神奈川県	9 048 331	2	4 544 545	4 503 786	3		125 686	4
新潟県	2 374 450	14	1 148 236	1 226 214	14		11 914	24
富山県	1 093 247	37	526 605	566 642	37		11 002	25
石川県	1 169 788	34	564 972	604 816	35		9 768	27
福井県	806 314	43	389 712	416 602	43		10 562	26
山梨県	863 075	41	422 526	440 549	42		12 484	21
長野県	2 152 449	16	1 046 178	1 106 271	16		29 841	16
岐阜県	2 080 773	17	1 006 247	1 074 526	17		36 879	12
静岡県	3 765 007	10	1 853 952	1 911 055	10		61 610	8
愛知県	7 410 719	4	3 704 220	3 706 499	4		160 228	3
三重県	1 854 724	22	903 398	951 326	22		32 825	14
滋賀県	1 410 777	28	696 769	714 008	30		21 537	18
京都府	2 636 092	13	1 265 387	1 370 705	13		41 855	9
大阪府	8 865 245	3	4 285 566	4 579 679	2		164 704	2
兵庫県	5 588 133	7	2 673 328	2 914 805	7		79 040	6
奈良県	1 400 728	29	663 321	737 407	28		9 255	29
和歌山県	1 002 198	39	471 397	530 801	39		4 837	39
鳥取県	588 667	47	280 701	307 966	47		3 596	44
島根県	717 397	46	342 991	374 406	46		4 779	40
岡山県	1 945 276	21	933 168	1 012 108	20		18 476	19
広島県	2 860 750	12	1 380 671	1 480 079	12		31 882	15
山口県	1 451 338	25	684 176	767 162	25		12 292	23
徳島県	785 491	44	372 710	412 781	44		4 076	41
香川県	995 842	40	479 951	515 891	40		6 858	34
愛媛県	1 431 493	26	673 326	758 167	27		7 828	31
高知県	764 456	45	359 134	405 322	45		3 172	47
福岡県	5 071 968	9	2 393 965	2 678 003	9		40 317	11
佐賀県	849 788	42	400 136	449 652	41		3 594	45
長崎県	1 426 779	27	665 899	760 880	26		6 498	35
熊本県	1 817 426	23	853 514	963 912	22		7 624	33
大分県	1 196 529	33	564 890	631 639	33		8 841	30
宮崎県	1 135 233	36	533 035	602 198	36		3 802	42
鹿児島県	1 706 242	24	796 896	909 346	24		5 490	37
沖縄県	1 392 818	30	683 328	709 490	31		7 651	32

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 人口と人口増加率 (各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料：「国勢調査」総務省統計局HP

## 人口増加率は2.0%

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の人口は、前回調査(平成17年)より140,313人増加し、7,194,556人(男性3,608,711人、女性3,585,845人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いており、増加率は過去最低だった前回調査を上回る2.0%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が100.90、次いで本県が100.64と2県で男性人口が女性人口を上回っています。

## 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は88,734人で、前回調査に比べて8,699人(10.9%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.1ポイント上昇して1.23%でした。

## ～男性が女性より多い県は？～

「国勢調査」によると、男性人口が女性人口を上回っている都道府県は、本県と神奈川県のみでした。全国では、女性が男性を約340万人も上回っています。

## ～都道府県の人口性比～

順位	人口性比が高い (男性の割合が高い)		順位	人口性比が低い (女性の割合が高い)	
1	神奈川県	100.90	1	長崎県	87.52
2	埼玉県	100.64	2	鹿児島県	87.63
3	愛知県	99.94	3	宮崎県	88.51
4	千葉県	99.36	4	秋田県	88.52
5	茨城県	99.31	5	熊本県	88.55



おしえてコバトン

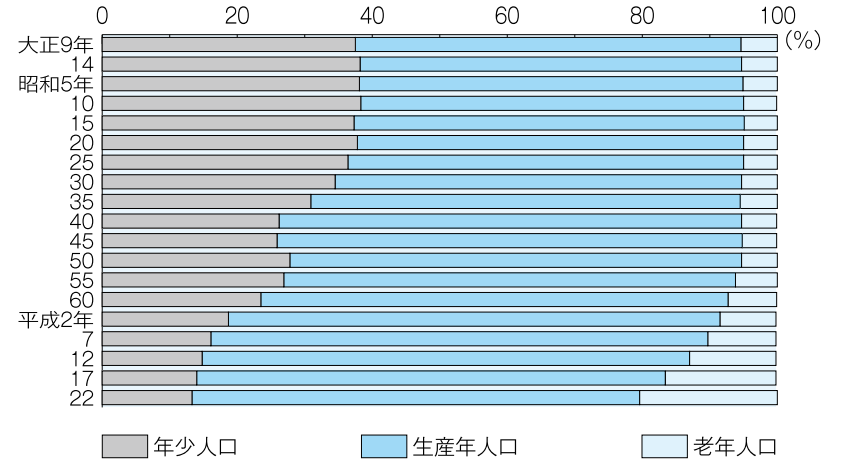
# 6 人口(年齢3区分別)

単 位	* 1 年少人口 (0~14歳)		* 2 生産年齢人口 (15~64歳)		* 3 老年人口 (65歳以上)		* 4 生産年齢 人口割合	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	16 803 444		81 031 800		29 245 685		63.8	
北海道	657 312	9	3 482 169	8	1 358 068	6	63.3	14
青森県	171 842	31	843 587	31	352 768	29	61.7	24
岩手県	168 804	32	795 780	32	360 498	28	60.1	39
宮城県	308 201	14	1 501 638	14	520 794	16	64.4	7
秋田県	124 061	40	639 633	38	320 450	32	59.0	46
山形県	149 759	36	694 110	35	321 722	31	59.6	43
福島県	276 069	18	1 236 458	20	504 451	17	61.3	25
茨城県	399 638	11	1 891 701	11	665 065	12	64.0	12
栃木県	269 823	20	1 281 274	18	438 196	24	64.4	8
群馬県	275 225	19	1 251 608	19	470 520	20	62.7	17
埼玉県	953 668	5	4 749 108	5	1 464 860	5	66.3	3
千葉県	799 646	6	4 009 060	6	1 320 120	7	65.4	4
東京都	1 477 371	1	8 850 225	1	2 642 231	1	68.2	1
神奈川県	1 187 743	2	5 988 857	2	1 819 503	3	66.6	2
新潟県	301 708	15	1 441 262	15	621 187	13	61.0	27
富山県	141 936	37	662 072	37	285 102	36	60.8	29
石川県	159 283	33	725 951	33	275 337	37	62.6	18
福井県	112 192	43	485 409	43	200 942	46	60.8	30
山梨県	115 337	42	531 455	41	211 581	42	61.9	22
長野県	295 742	16	1 281 683	17	569 301	15	59.7	42
岐阜県	289 748	17	1 282 800	16	499 399	18	61.9	23
静岡県	511 575	10	2 339 915	10	891 807	10	62.5	19
愛知県	1 065 254	4	4 791 445	4	1 492 085	4	65.2	5
三重県	253 174	22	1 142 275	22	447 103	23	62.0	21
滋賀県	210 753	26	897 583	26	288 788	35	64.2	10
京都府	334 444	13	1 653 812	13	605 709	14	63.8	13
大阪府	1 165 200	3	5 648 070	3	1 962 748	2	64.4	9
兵庫県	759 277	7	3 515 442	7	1 281 486	8	63.3	15
奈良県	184 011	30	875 062	27	333 746	30	62.8	16
和歌山県	128 005	39	594 573	40	270 846	38	59.9	40
鳥取県	77 951	47	352 098	47	153 614	47	60.3	36
島根県	92 218	46	414 153	46	207 398	45	58.0	47
岡山県	264 853	21	1 178 493	21	484 718	19	61.1	26
広島県	386 810	12	1 765 036	12	676 660	11	62.4	20
山口県	184 049	29	857 956	29	404 694	25	59.3	44
徳島県	96 596	44	471 788	44	209 926	43	60.6	32
香川県	131 670	38	595 451	39	253 245	39	60.7	31
愛媛県	185 179	28	858 991	28	378 591	26	60.4	35
高知県	92 798	45	447 540	45	218 148	41	59.0	45
福岡県	684 124	8	3 227 932	9	1 123 376	9	64.1	11
佐賀県	123 447	41	515 206	42	208 096	44	60.8	28
長崎県	193 428	27	857 416	30	369 290	27	60.4	34
熊本県	249 606	23	1 093 440	23	463 266	21	60.5	33
大分県	155 634	35	717 319	34	316 750	33	60.3	37
宮崎県	158 588	34	680 854	36	291 301	34	60.2	38
鹿児島県	233 379	25	1 016 150	24	449 692	22	59.8	41
沖縄県	246 313	24	897 960	25	240 507	40	64.8	6

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 年齢3区分別人口構成比 (各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

## 減少する年少人口

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢3区分別の人口は、年少人口が953,668人(本県の総人口の13.3%)、生産年齢人口が4,749,108人(同66.3%)、老年人口が1,464,860人(同20.4%)でした。

年少人口は、前回調査(平成17年)より32,693人減少し、総人口に占める割合は大正9年の第1回調査以来、最も低くなりました。

## 生産年齢人口割合は全国第3位

生産年齢人口は、前回調査より143,145人減少しました。また、総人口に占める割合は66.3%で前回調査に比べ3.2ポイント減少し、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となりました。

## 老年人口は前回調査より約30万人増加

老年人口は、前回調査より307,854人増加しました。総人口に占める割合は20.4%で前回調査に比べ4.0ポイント上昇し、大正9年の第1回調査以来初めて20%を超えました。前回調査の老年人口の割合は全国第46位でしたが、今回は全国第43位に上昇しました。

※平成22年国勢調査から、年齢区分別人口割合の算出にあたっては、「不詳」数を分母に含めない方法に変更になりました。

## ◆年齢3区分別人口割合 県内順位◆

順位	人口構成比(年齢3区分別)					
	年少人口 (15歳未満 (%))		生産年齢人口 (15~64歳 (%))		老年人口 (65歳以上 (%))	
1	伊奈町	17.7	和光市	71.6	東秩父村	31.7
2	吉川市	16.1	戸田市	70.4	長瀨町	30.0
3	滑川町	15.4	朝霞市	69.1	小鹿野町	29.4
県平均	13.3		66.3		20.4	
62	小川町	10.0	東秩父村	58.6	朝霞市	16.7
63	東秩父村	9.7	小鹿野町	58.4	戸田市	14.4
64	鳩山町	9.0	長瀨町	57.9	和光市	14.1

資料:「国勢調査」平成22年10月1日 総務省統計局HP

# 7 年齢

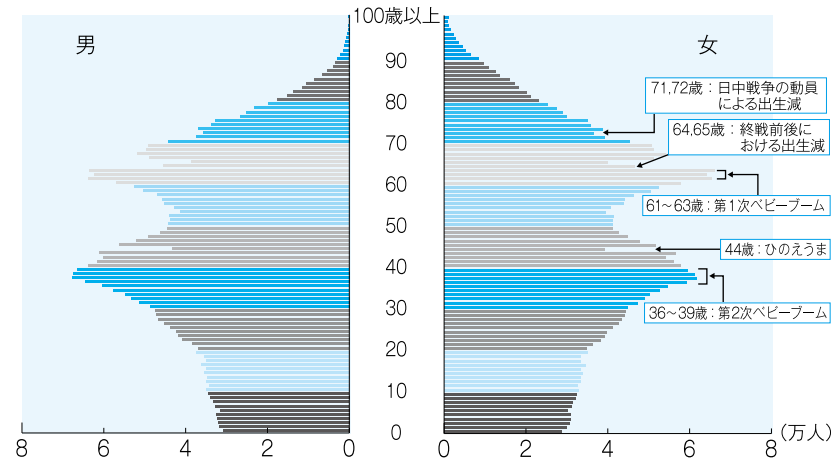
単 位	* 1 平均年齢		* 2 年齢中位数		* 3 平均寿命(男)		* 4 平均寿命(女)	
	歳	順位	歳	順位	年	順位	年	順位
全 国	45.0		45.0		78.79		85.75	
北海道	46.5	19	47.7	21	78.30	33	85.78	25
青森県	47.0	11	49.1	9	76.27	47	84.80	47
岩手県	47.4	7	49.5	7	77.81	45	85.49	37
宮城県	44.6	38	44.8	37	78.60	27	85.75	26
秋田県	49.3	1	52.4	1	77.44	46	85.19	45
山形県	47.6	5	50.0	5	78.54	28	85.72	27
福島県	46.1	22	47.8	20	77.97	42	85.45	39
茨城県	44.9	34	45.4	34	78.35	30	85.26	43
栃木県	44.8	37	45.4	35	78.01	40	85.03	46
群馬県	45.3	30	45.8	31	78.78	22	85.47	38
埼玉県	43.6	43	43.2	42	79.05	15	85.29	42
千葉県	44.3	40	44.0	40	78.95	18	85.49	36
東京都	43.8	42	42.3	45	79.36	5	85.70	28
神奈川県	43.4	44	42.6	43	79.52	3	86.03	18
新潟県	47.0	10	48.6	16	78.75	23	86.27	9
富山県	46.9	13	48.1	17	79.07	12	86.32	7
石川県	45.3	31	45.7	32	79.26	8	86.46	6
福井県	46.0	23	47.1	23	79.47	4	86.25	11
山梨県	45.8	24	46.5	25	78.89	21	86.17	12
長野県	46.6	18	47.5	22	79.84	1	86.48	5
岐阜県	45.3	33	45.9	30	79.00	16	85.56	35
静岡県	45.4	27	46.0	28	79.35	6	86.06	16
愛知県	42.9	46	42.1	46	79.05	14	85.40	40
三重県	45.4	28	45.9	29	78.90	20	85.58	34
滋賀県	43.1	45	42.5	44	79.60	2	86.17	13
京都府	44.8	36	44.5	38	79.34	7	85.92	19
大阪府	44.3	41	43.7	41	78.21	36	85.20	44
兵庫県	44.9	35	45.0	36	78.72	24	85.62	33
奈良県	45.4	29	46.1	27	79.25	9	85.84	24
和歌山県	47.3	8	49.1	8	77.97	41	85.34	41
鳥取県	46.9	14	48.6	14	78.26	34	86.27	8
島根県	48.4	3	51.0	2	78.49	29	86.57	2
岡山県	45.7	25	46.2	26	79.22	11	86.49	4
広島県	45.3	32	45.6	33	79.06	13	86.27	10
山口県	47.7	4	50.1	4	78.11	38	85.63	32
徳島県	47.6	6	49.7	6	78.09	39	85.67	30
香川県	46.7	17	48.1	18	78.91	19	85.89	20
愛媛県	47.1	9	48.9	12	78.25	35	85.64	31
高知県	48.4	2	50.9	3	77.93	44	85.87	21
福岡県	44.5	39	44.5	39	78.35	31	85.84	23
佐賀県	45.6	26	47.0	24	78.31	32	86.04	17
長崎県	46.8	16	48.9	11	78.13	37	85.85	22
熊本県	46.2	21	47.8	19	79.22	10	86.54	3
大分県	46.9	12	48.8	13	78.99	17	86.06	15
宮崎県	46.5	20	48.6	15	78.62	26	86.11	14
鹿児島県	46.8	15	49.0	10	77.97	43	85.70	29
沖縄県	40.7	47	40.0	47	78.64	25	86.88	1

資料出所  
\* 1.2 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 3.4 「都道府県別生命表」厚生労働省

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成17年

調査周期  
5年  
5年

# 人口ピラミッド (平成23年1月1日現在)



資料：「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

## 全国で第5番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成17年)では全国で4番目に若い41.8歳でしたが、平成22年10月1日現在、1.8歳上昇して43.6歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県、神奈川県に続いて5番目に若い県となりました。また、年齢中位数は43.2歳でした。

## 平均寿命の男女差は全国で最少

「都道府県別生命表」によると、平成17年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.05年、女性が85.29年で、30年前(昭和50年)より男性は7.17年、女性は8.68年上昇しました。平均寿命の男女差は6.24年(全国6.96年)で、全国で最も小さくなりました。

## 30歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成23年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、30歳代が1,132,557人で総数の15.6%を占め最も多く、次いで60歳代が1,077,428人で同14.8%、40歳代が1,030,098人で同14.2%と続いています。

平均年齢 年齢(各歳)×各歳別人口÷各歳別人口の合計+0.5

※表\*3, 4の順位は、厚生労働省公表の順位です。

## ~市町村の平均年齢~

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在、県内で最も平均年齢が高い市町村は東秩父村の51.1歳で、最も平均年齢が低い市町村は和光市の39.6歳でした。

単位：歳					
順位	平均年齢が高い		順位	平均年齢が低い	
1	東秩父村	51.1	1	和光市	39.6
2	鳩山町	49.8	2	戸田市	39.7
3	皆野町	49.0	3	伊奈町	40.4
4	長寿町	49.0	4	朝霞市	41.1
5	小鹿野町	48.8	5	吉川市	41.5



おしえてコバトン



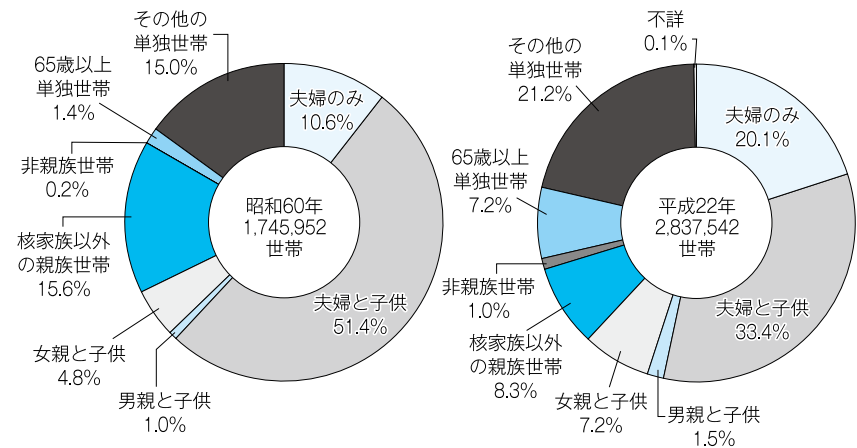
# 8 世帯

## 埼玉県の家族類型別一般世帯構成比

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	一般世帯数		1世帯当たり人員 (一般世帯)		核家族世帯割合 (一般世帯)		高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	51 842 307		2.42		56.3		9.2	
北 海 道	2 418 305	7	2.21	46	57.5	20	10.8	10
青 森 県	511 427	31	2.61	20	53.7	37	9.9	18
岩 手 県	482 845	32	2.69	11	51.1	45	9.0	24
宮 城 県	900 352	14	2.56	25	52.4	39	7.0	45
秋 田 県	389 095	38	2.71	8	52.1	41	10.1	14
山 形 県	387 682	39	2.94	1	48.3	46	7.7	39
福 島 県	719 441	22	2.76	7	52.5	38	8.3	30
茨 城 県	1 086 715	13	2.68	12	57.7	16	6.9	46
栃 木 県	744 193	19	2.65	15	55.6	30	7.1	44
群 馬 県	754 324	17	2.61	19	59.4	9	8.3	30
埼 玉 県	2 837 542	5	2.50	28	62.2	2	7.2	43
千 葉 県	2 512 441	6	2.44	34	59.5	8	7.6	40
東 京 都	6 382 049	1	2.03	47	48.2	47	9.8	20
神 奈 川 県	3 830 111	2	2.33	41	59.3	10	8.1	34
新 潟 県	837 387	15	2.77	6	52.2	40	7.8	35
富 山 県	382 431	40	2.79	4	53.9	36	8.2	32
石 川 県	440 247	35	2.58	22	54.2	35	8.2	32
福 井 県	274 818	45	2.86	2	52.1	41	7.8	35
山 梨 県	327 075	41	2.58	23	57.7	16	9.0	24
長 野 県	792 831	16	2.66	13	56.7	25	8.7	29
岐 阜 県	735 702	20	2.78	5	57.4	22	7.8	35
静 岡 県	1 397 173	10	2.65	16	56.4	26	7.6	40
愛 知 県	2 929 943	4	2.49	30	57.5	20	7.4	42
三 重 県	703 237	23	2.59	21	58.7	12	8.9	27
滋 賀 県	517 049	30	2.69	10	57.7	16	6.6	47
京 都 府	1 120 440	12	2.31	42	55.2	33	9.9	18
大 阪 府	3 823 279	3	2.28	44	57.2	23	11.3	8
兵 庫 県	2 252 522	8	2.44	33	60.5	3	10.6	12
奈 良 県	522 600	28	2.63	17	64.0	1	9.0	24
和 歌 山 県	392 842	36	2.50	29	60.1	5	12.8	3
鳥 取 県	211 396	47	2.71	9	52.1	41	9.2	23
島 根 県	260 921	46	2.66	14	51.5	44	10.5	13
岡 山 県	752 878	18	2.52	26	56.4	26	9.5	22
広 島 県	1 183 036	11	2.36	38	57.9	15	10.1	14
山 口 県	596 231	25	2.36	39	58.8	11	12.6	4
徳 島 県	301 546	43	2.52	27	55.4	31	10.7	11
香 川 県	389 652	37	2.49	31	57.7	16	9.8	20
愛 媛 県	589 676	26	2.37	37	58.6	13	11.8	5
高 知 県	321 004	42	2.30	43	55.8	28	13.9	2
福 岡 県	2 106 654	9	2.35	40	55.2	33	10.0	17
佐 賀 県	294 120	44	2.80	3	55.3	32	8.8	28
長 崎 県	556 895	27	2.47	32	58.2	14	11.4	7
熊 本 県	686 123	24	2.57	24	55.7	29	10.1	14
大 分 県	480 443	33	2.41	35	56.8	24	11.1	9
宮 崎 県	459 177	34	2.40	36	60.1	5	11.6	6
鹿 児 島 県	727 273	21	2.27	45	60.1	5	14.1	1
沖 縄 県	519 184	29	2.63	18	60.5	3	7.8	35

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の総世帯数は2,841,595世帯で、そのうち一般世帯数は2,837,542世帯、施設等の世帯数は4,053世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成17年)と比べると206,919世帯(7.9%)増加しました。

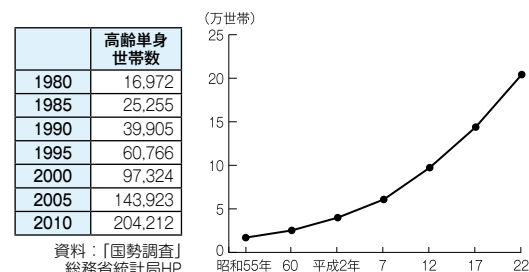
一般世帯の1世帯当たり人員は2.50人で、全国平均(2.42人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯あたり人員は、前回調査(平成17年)と比べるとすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,763,958世帯で一般世帯の62.2%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は569,701世帯(一般世帯の20.1%)、夫婦と子供から成る世帯は947,579世帯(同33.4%)でした。

高齢単身世帯は、前回調査より60,289世帯(41.9%)増加して204,212世帯で、一般世帯に占める割合は7.2%でした。

### ～高齢単身世帯数の推移～



「国勢調査」によると、県内の高齢(65歳以上)単身世帯数は、昭和55年には16,972世帯でしたが、平成22年には204,212世帯に達し、30年間で約12倍に増加しました。



おしえてコバトン

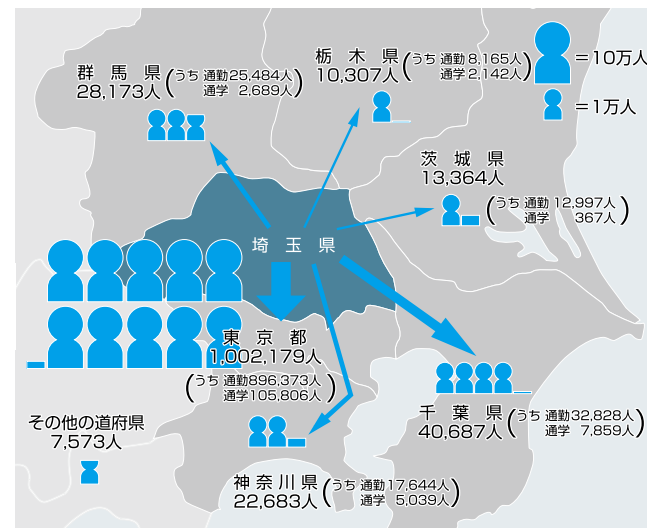
# 9 昼間人口

単 位	* 1 昼間人口		* 2 昼夜間人口比率		* 3 流入人口		* 4 流出人口	
	人	順位	%	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 285 653		100.0		5 825 846		5 825 846	
北海道	5 619 202	6	100.0	18	4 119	44	5 741	42
青森県	1 435 322	28	99.9	23	6 607	41	7 675	36
岩手県	1 377 316	29	99.7	29	8 601	31	12 066	27
宮城県	2 356 573	15	100.1	13	21 299	21	19 164	25
秋田県	1 144 053	37	99.9	24	2 515	45	3 452	45
山形県	1 214 739	33	99.9	22	4 984	42	5 843	41
福島県	2 082 022	17	99.6	33	12 275	24	20 125	23
茨城県	2 885 594	11	97.0	40	77 026	9	165 143	9
栃木県	1 997 809	20	99.3	36	58 830	11	73 852	13
群馬県	2 020 684	18	99.9	27	58 670	12	61 011	16
埼玉県	6 158 964	5	87.5	47	255 851	4	1 124 966	2
千葉県	5 340 259	7	88.5	46	192 383	6	883 987	3
東京都	14 977 580	1	120.6	1	3 026 291	1	481 636	4
神奈川県	7 905 219	3	90.3	44	291 051	3	1 131 345	1
新潟県	2 428 268	14	100.1	11	6 983	38	4 618	44
富山県	1 107 974	38	99.7	30	6 625	40	9 436	31
石川県	1 177 115	35	100.3	5	11 927	26	8 009	35
福井県	821 456	43	100.2	8	6 770	39	5 429	43
福山県	875 550	41	99.1	37	10 455	28	18 565	26
長野県	2 192 533	16	99.9	25	9 503	30	11 636	28
岐阜県	2 018 595	19	95.9	42	46 488	14	133 071	10
静岡県	3 783 248	10	99.9	26	34 586	17	38 659	18
愛知県	7 341 385	4	101.7	3	200 692	5	78 788	12
三重県	1 824 266	23	97.8	38	30 260	19	70 490	14
滋賀県	1 327 275	31	96.2	41	43 205	15	94 351	11
京都府	2 651 073	13	100.8	4	184 210	7	165 194	8
大阪府	9 241 468	2	105.5	2	740 010	2	257 416	6
兵庫県	5 298 677	8	95.1	43	133 887	8	403 921	5
奈良県	1 258 665	32	88.7	45	57 892	13	218 864	7
和歌山県	1 011 556	40	97.8	39	17 422	22	40 924	17
鳥取県	607 449	47	100.2	9	8 566	32	7 612	37
島根県	740 729	46	99.9	20	8 302	35	8 684	33
岡山県	1 948 832	21	99.9	21	22 174	20	23 783	21
広島県	2 872 032	12	100.3	6	33 722	18	24 263	20
山口県	1 482 350	25	99.4	35	14 601	23	22 753	22
徳島県	807 551	44	99.7	32	4 292	43	6 513	40
香川県	1 012 636	39	100.2	7	9 898	29	8 071	34
愛媛県	1 468 813	27	100.1	10	8 465	33	6 652	39
高知県	795 109	45	99.9	28	2 320	46	3 350	46
福岡県	5 030 396	9	100.1	12	68 747	10	63 892	15
佐賀県	866 003	42	100.0	15	36 379	16	36 560	19
長崎県	1 474 240	26	99.7	31	7 119	37	10 907	29
熊本県	1 832 633	22	99.6	34	12 220	25	19 906	24
大分県	1 207 316	34	100.1	14	10 784	27	9 655	30
宮崎県	1 152 158	36	100.0	16	7 499	36	7 527	38
鹿児島県	1 752 159	24	100.0	19	8 341	34	8 998	32
沖縄県	1 360 807	30	100.0	17	1 000	47	1 343	47

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期  
平成17年10月1日 5年

# 県外への通勤・通学者数 (平成17年10月1日)



注)15歳以上。年齢不詳者を除く。  
資料:「国勢調査」総務省統計局

## 県外への通勤・通学者は約9割が東京都へ

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成12年)より173,467人(2.9%)増加して6,158,964人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,035,620人でした。昼夜間人口比率は87.5%で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,910,900人で、そのうち県外に就業・通学している者(流出人口)は、1,124,966人でした。

県外への通勤・通学者は、東京都への1,002,179人(県外への通勤・通学者の89.1%)が最も多く、次いで千葉県への40,687人(同3.6%)、群馬県への28,173人(同2.5%)の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県に就業・通学している者(流入人口)は、255,851人でした。

県外からの通勤・通学者は、東京都からの146,698人(県外からの通勤・通学者の57.3%)が最も多く、次いで千葉県からの37,447人(同14.6%)、群馬県からの25,548人(同10.0%)の順でした。

## ~市区町村の昼夜間人口比率~

順位	昼夜間人口比率が低い (流出超過)	順位	昼夜間人口比率が高い (流入超過)
1	南河原村 (現行田市の一部) 68.1	1	さいたま市大宮区 148.6
2	鷺宮町 (現久喜市の一部) 69.2	2	三芳町 113.2
3	富士見市 70.4	3	玉川村 (現ときがわ町の一部) 108.7
4	都幾川村 (現ときがわ町の一部) 71.1	4	大利根町 (現加須市の一部) 104.0
5	さいたま市南区 72.2	5	さいたま市浦和区 103.3

資料:平成17年国勢調査

昼夜間人口比率とは、常住人口100人当たりの昼間人口の割合をいいます。

昼夜間人口比率が100を下回ってれば、他市区町村への通勤・通学者等の流出が流入を上回っており(流出超過)、100を超えていれば、他市区町村からの流入が流出を上回っている(流入超過)ことを表しています。

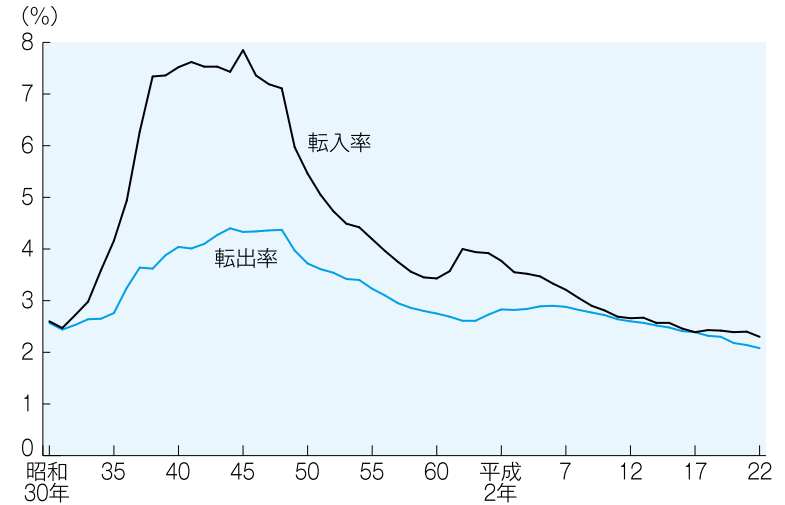


おしえてコバトン

# 10 転入・転出

# 転入率と転出率

単 位	* 1 他都道府県からの 転入者数		* 2 他都道府県への 転出者数		* 3 転入超過数		* 4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 332 392		2 332 392		-		-	
北海道	48 784	12	57 421	9	△8 637	47	△ 0.16	26
青森県	19 963	30	24 995	28	△5 032	45	△ 0.37	47
岩手県	17 893	35	22 131	31	△4 238	43	△ 0.32	44
宮城県	47 358	13	47 914	14	△ 556	10	△ 0.02	9
秋田県	12 735	40	16 463	39	△3 728	40	△ 0.34	45
山形県	13 517	38	17 124	38	△3 607	39	△ 0.31	43
福島県	25 611	25	31 363	17	△5 752	46	△ 0.29	42
茨城県	50 029	11	49 085	13	944	7	0.03	7
栃木県	31 940	15	33 465	15	△1 525	19	△ 0.08	17
群馬県	27 335	20	28 633	24	△1 298	15	△ 0.07	15
埼玉県	162 483	3	147 059	4	15 424	2	0.22	3
千葉県	151 402	4	137 215	5	14 187	4	0.23	2
東京都	396 318	1	347 987	1	48 331	1	0.38	1
神奈川県	215 904	2	201 017	2	14 887	3	0.17	4
新潟県	23 754	28	27 858	26	△4 104	42	△ 0.17	28
富山県	12 664	41	13 310	42	△ 646	41	△ 0.06	14
石川県	17 182	36	17 705	36	△ 523	9	△ 0.05	12
福井県	9 058	47	10 468	46	△1 410	18	△ 0.18	32
山梨県	13 070	39	14 438	40	△1 368	16	△ 0.16	26
長野県	26 871	21	28 974	23	△2 103	28	△ 0.10	20
岐阜県	26 793	22	30 181	19	△3 388	37	△ 0.17	28
静岡県	52 128	10	56 022	10	△3 894	41	△ 0.11	22
愛知県	105 769	6	107 031	6	△1 262	14	△ 0.02	9
三重県	27 619	19	29 211	21	△1 592	23	△ 0.09	19
滋賀県	26 793	22	24 477	29	2 316	6	0.17	4
京都府	53 014	9	54 954	11	△1 940	25	△ 0.08	17
大阪府	151 123	5	154 693	3	△3 570	38	△ 0.04	11
兵庫県	90 632	8	93 275	8	△2 643	34	△ 0.05	12
奈良県	25 690	24	27 987	25	△2 297	32	△ 0.17	28
和歌山県	12 064	42	14 289	41	△2 225	30	△ 0.22	40
鳥取県	9 319	46	10 451	47	△1 132	13	△ 0.19	35
島根県	10 749	44	12 319	43	△1 570	20	△ 0.22	40
岡山県	28 005	18	30 089	20	△2 084	27	△ 0.11	22
広島県	47 265	14	49 167	12	△1 902	24	△ 0.07	15
山口県	23 041	29	25 927	27	△2 886	35	△ 0.20	38
徳島県	10 120	45	11 705	44	△1 585	21	△ 0.20	38
香川県	18 458	34	19 863	35	△1 405	17	△ 0.14	25
愛媛県	18 762	33	21 358	34	△2 596	33	△ 0.18	32
高知県	10 778	43	11 560	45	△ 782	12	△ 0.10	20
福岡県	98 435	7	95 762	7	2 673	5	0.05	6
佐賀県	15 906	37	17 494	37	△1 588	22	△ 0.19	35
長崎県	24 343	27	29 206	22	△4 863	44	△ 0.34	45
熊本県	28 759	17	31 031	18	△2 272	31	△ 0.13	24
大宮	19 505	32	21 548	33	△2 043	29	△ 0.17	28
鹿児島県	19 870	31	22 017	32	△2 147	26	△ 0.19	35
鹿儿島県	29 182	16	32 167	16	△2 985	36	△ 0.18	32
沖縄県	24 399	26	23 983	30	416	8	0.03	7



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

### 転入超過数は全国第2位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成22年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年より6,405人減少して、162,483人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く61,791人、次いで神奈川県から14,052人、千葉県から13,620人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より3,746人減少して147,059人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く56,101人、次いで神奈川県へ14,570人、千葉県へ14,092人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過が続き、平成22年の転入超過数は15,424人で、東京都に次いで全国第2位でした。なお、転入超過率は0.22%で、全国第3位でした。

### ◆自然増加の大きい都道府県◆

順位	自然増加数 (人)	自然増加率 (%)
1	愛知県 10,527	沖縄県 0.48
2	神奈川県 9,292	愛知県 0.15
3	沖縄県 6,804	滋賀県 0.11
4	埼玉県 3,062	神奈川県 0.10
5	東京都 2,752	埼玉県 0.04

### ◆社会増加の大きい都道府県◆

順位	社会増加数 (人)	社会増加率 (%)
1	東京都 49,797	東京都 0.39
2	埼玉県 14,783	埼玉県 0.21
3	神奈川県 11,840	滋賀県 0.20
4	千葉県 11,393	千葉県 0.19
5	福岡県 5,919	神奈川県 0.13

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」総務省HP(平成23年3月31日現在)

資料出所 \*1~4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期 平成22年 毎年

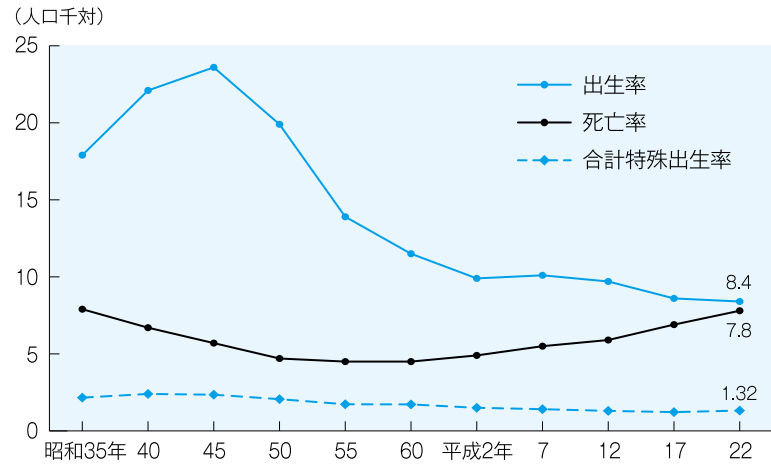
# 11 出生

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	出生数 人	順位	出生率 (人口千対)	順位	自然増加率 (人口千対)	順位	合計特殊出生率	順位
全 国	1 071 304		8.5		△ 1.0		1.39	
北海道	40 158	9	7.3	44	△ 2.8	29	1.26	46
青森県	9 711	34	7.1	46	△ 4.6	43	1.38	37
岩手県	9 745	33	7.4	43	△ 4.5	42	1.46	27
宮城県	19 126	14	8.2	27	△ 1.2	13	1.30	43
秋田県	6 688	42	6.2	47	△ 7.0	47	1.31	41
山形県	8 651	36	7.4	42	△ 4.7	44	1.48	23
福島県	16 126	22	8.0	35	△ 3.3	34	1.52	17
茨城県	23 989	12	8.2	26	△ 1.6	15	1.44	31
栃木県	16 473	20	8.3	23	△ 1.6	17	1.44	29
群馬県	16 023	23	8.1	30	△ 2.2	26	1.46	26
埼玉県	59 437	5	8.4	22	0.6	5	1.32	40
千葉県	51 633	6	8.4	20	0.3	7	1.34	38
東京都	108 135	1	8.4	19	0.3	6	1.12	47
神奈川県	78 077	2	8.8	10	1.2	4	1.31	42
新潟県	18 083	15	7.7	38	△ 3.6	37	1.43	32
富山県	8 188	38	7.6	40	△ 3.4	35	1.42	34
石川県	9 602	35	8.3	24	△ 1.7	20	1.44	30
福井県	6 874	41	8.6	13	△ 1.9	25	1.61	8
山梨県	6 651	43	7.8	36	△ 3.1	33	1.46	25
長野県	17 233	16	8.1	31	△ 2.8	30	1.53	16
岐阜県	16 887	18	8.3	25	△ 1.6	16	1.48	22
静岡県	31 896	10	8.6	15	△ 1.2	14	1.54	15
愛知県	69 872	4	9.6	2	1.6	2	1.52	18
三重県	15 262	24	8.4	21	△ 1.9	24	1.51	19
滋賀県	13 363	26	9.6	3	1.3	3	1.54	14
京都府	21 234	13	8.2	29	△ 1.0	12	1.28	45
大阪府	75 080	3	8.6	14	△ 0.2	9	1.33	39
兵庫県	47 834	7	8.7	12	△ 0.7	10	1.41	36
奈良県	10 694	30	7.7	37	△ 1.7	19	1.29	44
和歌山県	7 587	40	7.6	39	△ 4.5	41	1.47	24
鳥取県	4 790	47	8.2	28	△ 3.7	38	1.54	13
島根県	5 756	45	8.1	32	△ 4.7	45	1.68	3
岡山県	16 759	19	8.7	11	△ 1.8	21	1.50	20
広島県	25 546	11	9.0	5	△ 0.7	11	1.55	12
山口県	11 551	28	8.0	34	△ 4.2	39	1.56	11
徳島県	5 904	44	7.6	41	△ 4.4	40	1.42	33
香川県	8 397	37	8.5	16	△ 2.7	28	1.57	9
愛媛県	11 427	29	8.0	33	△ 3.5	36	1.50	21
高知県	5 518	46	7.2	45	△ 5.6	46	1.42	35
福岡県	46 818	8	9.3	4	△ 0.0	8	1.44	28
佐賀県	7 640	39	9.0	7	△ 1.9	22	1.61	6
長崎県	12 004	27	8.5	18	△ 3.0	31	1.61	7
熊本県	16 246	21	9.0	8	△ 1.6	18	1.62	5
大分県	10 072	32	8.5	17	△ 2.5	27	1.56	10
宮崎県	10 217	31	9.0	6	△ 1.9	23	1.68	2
鹿児島県	15 124	25	8.9	9	△ 3.0	32	1.62	4
沖縄県	17 098	17	12.3	1	5.0	1	1.87	1

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成22年 毎年

## 出生率・死亡率及び合計特殊出生率



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

### 減少が続く出生数

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成22年の出生数は前年より288人減少して、59,437人(男30,805人、女28,632人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加した年もありますが、全体として減少傾向にあります。

また、出生率は8.4で、前年を0.1ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年ころから10.0前後で推移していました。しかし、平成13年以降は低下が続き、平成18年は上昇したものの、平成19年から再び低下が続いています。

### 自然増加率は低下

自然増加率は0.6で、前年より0.4ポイント低下したものの、全国第5位でした。合計特殊出生率は前年より0.04ポイント上昇し、1.32でした。

※表\*1~3の全国値は住所が外国の者を含みます。

※表\*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成22年10月1日現在の国勢調査による基準人口(総務省統計局)です。また、順位は、県保健医療政策公表の順位です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増加率 自然増加数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当します。

### ~出生率の高い市町村は?~

平成22年の「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、人口千人に対する出生率で最も高率だったのは、戸田市の12.0、次いで和光市の11.5、朝霞市の11.0、伊奈町の11.0でした。また、低率だったのは、東秩父村の3.6、鳩山町の3.6、ときがわ町の4.0の順でした。



おしえてコバトン



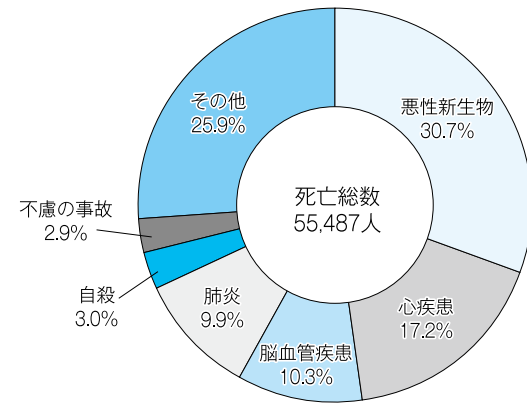
# 12 死亡

# 死因別死亡数構成比 (平成22年)

単 位	* 1 死亡数 (総数)		* 2 死亡率 (人口千対)		* 3 死亡数 (悪性新生物)		* 4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 197 012		9.5		353 499		189 360	
北海道	55 404	6	10.1	28	17 828	4	8 925	5
青森県	16 030	28	11.7	11	4 784	26	2 634	28
岩手県	15 756	29	11.9	9	4 322	29	2 683	27
宮城県	21 932	17	9.4	35	6 371	15	3 303	19
秋田県	14 288	30	13.2	1	4 085	30	2 285	31
山形県	14 084	31	12.1	5	3 906	32	2 215	32
福島県	22 747	16	11.3	15	6 173	16	3 994	15
茨城県	28 615	11	9.8	33	8 061	11	4 397	12
栃木県	19 712	22	10.0	30	5 444	21	3 332	17
群馬県	20 385	18	10.3	26	5 670	18	3 089	23
埼玉県	55 487	5	7.8	45	17 058	6	9 543	4
千葉県	50 014	8	8.2	42	15 031	8	8 761	6
東京都	104 238	1	8.1	43	32 095	1	16 282	1
神奈川県	67 760	3	7.6	46	21 246	3	9 976	3
新潟県	26 618	13	11.3	14	7 741	13	4 022	14
富山県	11 875	36	11.0	17	3 401	37	1 657	40
石川県	11 607	37	10.0	29	3 349	38	1 818	38
福井県	8 417	46	10.6	24	2 362	46	1 430	44
山梨県	9 268	43	10.9	21	2 450	45	1 478	42
長野県	23 133	15	10.9	20	6 071	17	3 453	16
岐阜県	20 220	21	9.9	31	5 622	19	3 327	18
静岡県	36 420	10	9.8	32	10 262	10	5 464	10
愛知県	58 477	4	8.1	44	17 814	5	8 642	7
三重県	18 691	24	10.3	27	5 058	24	2 890	26
滋賀県	11 602	38	8.4	41	3 448	34	1 885	37
京都府	23 714	14	9.1	39	7 311	14	4 100	13
大阪府	76 556	2	8.8	40	24 563	2	12 315	2
兵庫県	51 568	7	9.4	37	15 855	7	7 969	8
奈良県	13 036	32	9.4	36	4 046	31	2 432	30
和歌山県	12 049	35	12.1	6	3 440	35	2 019	34
鳥取県	6 947	47	11.9	10	2 013	47	1 101	47
島根県	9 109	45	12.8	3	2 488	44	1 525	41
岡山県	20 248	20	10.5	25	5 518	20	3 121	22
広島県	27 561	12	9.7	34	8 036	12	4 682	11
山口県	17 646	25	12.3	4	4 845	25	2 925	25
徳島県	9 307	42	11.9	8	2 538	43	1 421	45
香川県	11 064	39	11.2	16	3 109	39	1 903	36
愛媛県	16 344	26	11.5	12	4 510	28	3 172	20
高知県	9 769	41	12.8	2	2 590	42	1 681	39
福岡県	46 996	9	9.3	38	14 769	9	5 791	9
佐賀県	9 212	44	10.9	22	2 714	41	1 371	46
長崎県	16 303	27	11.5	13	4 706	27	2 571	29
熊本県	19 217	23	10.6	23	5 324	23	2 960	24
大分県	12 988	33	10.9	18	3 639	33	1 955	35
宮崎県	12 334	34	10.9	19	3 427	36	2 071	33
鹿児島県	20 294	19	11.9	7	5 436	22	3 123	21
沖縄県	10 156	40	7.3	47	2 745	40	1 459	43

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 平成22年 調査周期 毎年



資料:「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課

## 死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成22年の死亡数は前年より3,113人増加して、55,487人(男性30,709人、女性24,778人)で全国第5位でした。死亡率は前年より0.4ポイント増加して7.8でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

## 昭和56年以降死因第1位は、悪性新生物

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が17,058人(死亡総数の30.7%)と最も多く、次いで心疾患9,543人(同17.2%)、脳血管疾患5,711人(同10.3%)、肺炎5,514人(同9.9%)、自殺1,642人(同3.0%)、不慮の事故1,635人(同2.9%)の順でした。また、年齢階級別に死因別割合をみると、10歳代までは不慮の事故、20歳代、30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなりました。

※表\*1~4の全国計は住所が外国・不詳の者を含みます。

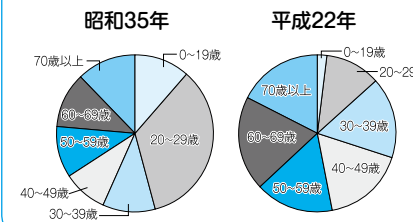
※表\*2の順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

※表\*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成22年10月1日現在の国勢調査による基準人口(総務省統計局)です。

## ~自殺による年齢階級別死者数割合~



「埼玉県の人口動態概況」によると、自殺による年齢階級別死者数は、昭和35年は20歳以下が46.0%を占め、60代以上は23.5%でした。平成22年は20歳以下は13.4%であるのに対し、60代以上が36.9%を占め、高齢者の自殺割合が急増しています。全体の自殺者の半数以上を50代以上が占めています。





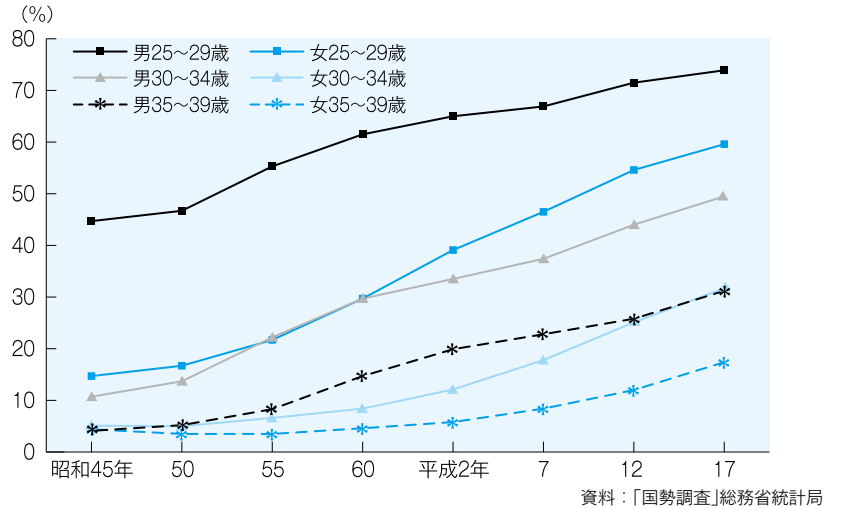
# 13 婚姻・離婚

単 位	* 1 婚姻件数		* 2 離婚件数		* 3 平均初婚年齢・夫		* 4 平均初婚年齢・妻	
	件	順位	件	順位	歳	順位	歳	順位
	全 国	700 214		251 378		30.5		28.8
北海道	28 389	9	12 596	6	30.1	22	28.7	10
青森県	5 924	32	2 679	27	29.9	34	28.1	45
岩手県	5 724	35	2 327	33	30.1	22	28.2	38
宮城県	11 972	14	4 667	14	30.1	22	28.4	22
秋田県	4 281	40	1 795	39	30.2	20	28.4	22
山形県	5 159	36	1 887	37	29.9	34	28.1	45
福島県	9 582	21	3 965	15	29.7	40	27.9	47
茨城県	15 044	12	5 693	11	30.4	11	30.4	18
栃木県	10 616	16	3 898	16	30.4	11	28.5	18
群馬県	9 679	20	3 865	17	30.3	15	28.6	16
埼玉県	39 160	5	14 325	4	30.9	4	28.9	7
千葉県	34 785	6	12 391	7	31.0	3	29.1	4
東京都	91 196	1	26 335	1	31.8	1	29.9	1
神奈川県	54 203	2	17 830	3	31.3	2	29.4	2
新潟県	11 018	15	3 438	23	30.3	15	28.6	16
富山県	4 928	38	1 569	41	30.6	8	28.7	10
石川県	5 829	34	1 817	38	30.5	9	28.7	10
福井県	3 705	43	1 233	45	30.2	20	28.4	22
山梨県	4 221	41	1 693	40	30.8	7	29.0	5
長野県	10 318	17	3 636	18	30.9	4	29.0	5
岐阜県	10 087	18	3 395	24	30.1	22	28.2	38
静岡県	20 323	10	7 241	10	30.4	11	28.5	18
愛知県	45 039	4	14 253	5	30.3	15	28.4	22
三重県	9 396	22	3 461	22	30.0	27	28.2	38
滋賀県	7 691	26	2 466	31	30.0	27	28.3	31
京都府	13 664	13	4 964	13	30.9	4	29.2	3
大阪府	51 242	3	20 752	2	30.5	9	28.9	7
兵庫県	29 752	7	10 738	9	30.3	15	28.7	10
奈良県	6 595	30	2 602	28	30.4	11	28.9	7
和歌山県	4 771	39	2 077	35	29.7	40	28.2	38
鳥取県	2 834	47	1 141	46	30.0	27	28.4	22
島根県	3 283	46	1 110	47	30.0	27	28.4	22
岡山県	9 894	19	3 626	19	30.0	27	28.3	31
広島県	15 402	11	5 472	12	30.0	27	28.4	22
山口県	6 966	27	2 531	29	29.9	34	28.2	38
徳島県	3 573	44	1 445	44	29.6	45	28.3	31
香川県	4 975	37	1 928	36	30.0	27	28.5	18
愛媛県	6 922	28	2 811	26	29.8	38	28.3	31
高知県	3 328	45	1 463	43	30.3	15	28.7	10
福岡県	29 247	8	10 952	8	30.1	22	28.7	10
佐賀県	4 210	42	1 536	42	29.6	45	28.2	38
長崎県	6 647	29	2 515	30	29.7	40	28.3	31
熊本県	9 098	23	3 623	20	29.7	40	28.3	31
大分県	6 076	31	2 314	34	29.8	38	28.4	22
宮崎県	5 892	33	2 415	32	29.5	47	28.3	31
鹿児島県	8 682	25	3 328	25	29.7	40	28.2	38
沖縄県	8 892	24	3 580	21	29.9	34	28.4	22

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 平成22年 調査周期 毎年

## 年齢階級別未婚率



### 婚姻件数、離婚件数とも減少

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成22年の婚姻件数は、前年より239件減少して39,160件で、婚姻率は前年より0.1ポイント低下して5.5でした。

また、離婚件数は、前年より259件減少して14,325件で、離婚率は前年より0.05ポイント低下して2.02でした。

### 年々上がる初婚年齢

平成22年の平均初婚年齢は、夫は前年より0.1歳上昇して30.9歳、妻は前年と同じ28.9歳でした。

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性73.9%、女性59.6%で、前回調査(平成12年)より男性は2.4ポイント、女性は5.0ポイント上昇しました。

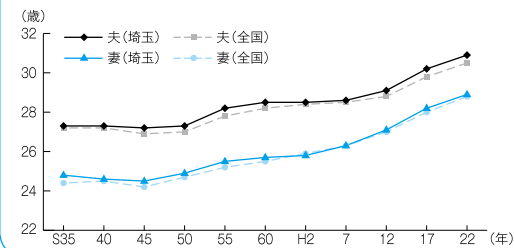
また、30~34歳では男性49.5%、女性31.7%で、前回調査より男性は5.5ポイント、女性は6.6ポイント上昇しました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

\*日本人人口は、平成22年10月1日現在国勢調査による基準人口(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者数÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ~平均初婚年齢の推移~



本県の平均初婚年齢は夫30.9歳、妻28.9歳で、昭和35年と比べて夫は3.6歳、妻は4.1歳上昇しました。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



おしえてコバトン

## ◆国勢調査による世帯及び人口の推移◆

年次	世帯数	人口(人)			
		総数	男	女	増加数
大正 9年	237 949	1 319 533	641 161	678 372	…
14	253 261	1 394 461	682 052	712 409	74 928
昭和 5年	265 465	1 459 172	718 779	740 393	64 711
10	277 548	1 528 854	753 802	775 052	69 682
15	290 509	1 608 039	798 321	809 718	79 185
20	…	2 047 261	955 753	1 091 508	439 222
22	399 099	2 100 453	1 022 869	1 077 584	…
25	398 779	2 146 445	1 049 695	1 096 750	99 184
30	423 902	2 262 623	1 110 083	1 152 540	116 178
35	492 731	2 430 871	1 200 573	1 230 298	168 248
40	696 821	3 014 983	1 511 947	1 503 036	584 112
45	993 079	3 866 472	1 951 219	1 915 253	851 489
50	1 323 713	4 821 340	2 437 128	2 384 212	954 868
55	1 584 655	5 420 480	2 739 175	2 681 305	599 140
60	1 751 372	5 863 678	2 961 591	2 902 087	443 198
平成 2年	2 044 234	6 405 319	3 245 868	3 159 451	541 641
7	2 289 138	6 759 311	3 419 218	3 340 093	353 992
12	2 482 374	6 938 006	3 500 224	3 437 782	178 695
17	2 650 115	7 054 243	3 554 843	3 499 400	116 237
22	2 841 595	7 194 556	3 608 711	3 585 845	140 313

資料：総務省統計局「国勢調査」（各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在）

## ◆市区町村別面積(平成22年)◆

市区町村	面積(k㎡)	市区町村	面積(k㎡)	市区町村	面積(k㎡)	市区町村	面積(k㎡)
県計	(b)3 767.92	鴻巣市	67.49	北足立郡		大里郡	
市計	(a)(b)2 190.51	深谷市	138.41	伊奈町	14.80	寄居町	64.17
町村計	(a) 950.37						
		上尾市	45.55	入間郡		南埼玉郡	
さいたま市	217.49	草加市	27.42	三芳町	15.30	宮代町	15.95
西区	29.14	越谷市	60.31	毛呂山町	34.03	白岡町	24.88
北区	16.91	蕨市	5.10	越生町	40.44		
大宮区	12.75	戸田市	18.17			北葛飾郡	
見沼区	30.63			比企郡		杉戸町	30.00
中央区	8.99	入間市	44.74	滑川町	29.71	松伏町	16.22
桜区	18.60	鳩ヶ谷市	6.22	嵐山町	29.85		
浦和区	11.51	朝霞市	18.38	小川町	60.45	境界未定等	
南区	13.89	志木市	9.06	川島町	41.72		
緑区	26.51	和光市	11.04	吉見町	38.63	秩父市	(a) 627.04
岩槻区	49.16					秩父郡横瀬町	
		新座市	22.80	鳩山町	25.71		
川越市	109.16	桶川市	25.26	ときがわ町	55.77	三郷市	(b) 65.00
熊谷市	159.88	久喜市	82.40			東京都葛飾区	
川口市	55.75	北本市	19.84	秩父郡			
行田市	67.37	八潮市	18.03	横瀬町	(a)境界未定		
秩父市	(a)境界未定			皆野町	63.61		
		富士見市	19.70	長瀬町	30.40		
所沢市	71.99	三郷市	(b)境界未定	小鹿野町	171.45		
飯能市	193.18	蓮田市	27.27	東秩父村	37.17		
加須市	133.47	坂戸市	40.97				
本庄市	89.71	幸手市	33.95	児玉郡			
東松山市	65.33			美里町	33.48		
		鶴ヶ島市	17.73	神川町	47.42		
春日部市	65.98	日高市	47.48	上里町	29.21		
狭山市	49.04	吉川市	31.62				
羽生市	58.55	ふじみ野市	14.67				

資料：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（10月1日現在）

注）境界未定の取り扱い、次のとおりである。

(a) 秩父市及び秩父郡横瀬町は、境界の一部が未定のため、合計面積を示した。

なお、この面積は、市計及び町村計には含まない。

(b) 三郷市及び東京都葛飾区は、境界の一部が未定のため、合計面積を示した。

なお、三郷市の面積は、県計及び市計には含まない。

上記データは、埼玉県統計年鑑から抜粋しました。